

<b>1-1</b>		<b>1-2</b>	
建物名称	(仮称)グローリアレジデンス湘南平塚 計画	階数	地上10F
建設地	神奈川県平塚市宮の前3番7、3番8	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	135 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年9月29日
敷地面積	870 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社IAO竹田設計
建築面積	576 m <sup>2</sup>	確認日	2017年9月29日
延床面積	4,113 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社IAO竹田設計



**2-1**

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

**2-2**

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外のオンサイト手法 83%  
④上記+オフサイト手法 83%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

**2-3**

**2-4**

**Q 環境品質** Qのスコア= **2.8**

**Q1 室内環境** Q1のスコア= **3.4**

**Q2 サービス性能** Q2のスコア= **3.2**

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= **1.4**

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= **3.2**

**LR1 エネルギー** LR1のスコア= **3.5**

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア= **2.7**

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア= **3.2**

<b>3 総合</b>		<b>その他</b>
住宅性能評価を取得し建物躯体耐久性の向上を目指し、緑化環境に配慮した計画としている。		特になし
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
遮音性能やF☆☆☆☆の建築材料を全面的に採用している。また、専有部分において高い昼光率を確保し、室内環境の向上に努めている。	住宅性能評価における劣化対策等級4を取得し、躯体の耐久性向上に努めている。給排水配管の更新性にも配慮している。	外構緑化指数93.14%以上とし、良好な緑景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
一次エネルギー消費量BEI=0.93とし、省エネルギー性能の向上に努めている。	特になし	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値の83%とし、敷地外環境の向上に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される